

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市障害者福祉施設春光園(けやき、うえみず)
(2)施設概要	<p>①所在地  けやき:見沼区宮ヶ谷塔1-280 うえみず:西区佐知川299-16</p> <p>②施設の設置目的  生活介護事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う。  自立訓練事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、原則2年間にわたり生活能力の維持、向上等のために必要な支援、訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。  相談支援事業は、障害者(児)及びその家族に対して、それぞれが抱える問題や課題を確認し、各関係機関との連携を図り、適切なサービスを受けることができるよう利用計画を作成し継続した状況把握を行う。</p> <p>③施設の概要  事業指定年月 平成18年10月  敷地面積 けやき:9,146.00㎡ うえみず:1,072.70㎡  延床面積 けやき:2,014.50㎡ うえみず:286.52㎡  構造 けやき:鉄筋コンクリート造平屋建  うえみず:軽量鉄骨造平屋建  事業内容 けやき:生活介護事業(定員77人)  自立訓練(生活訓練)事業(定員10人)  相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)  うえみず:生活介護事業(定員20人)  相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間  令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料  平成30年度173,110千円、令和元年度174,043千円、令和2年度181,186千円</p>

<p>(5)施設の管理運営の内容</p>	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p>&lt;春光園けやき生活介護事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延利用者数 15,597人(前年度 15,561人)</li> <li>・平均利用者数 64.2人(前年度 63.8人)</li> <li>・稼働率 83.4%(前年度 82.8%)</li> </ul> <p>&lt;春光園けやき自立訓練事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延利用者数 235人(前年度 226人)</li> <li>・平均利用者数 1.0人(前年度 0.9人)</li> <li>・稼働率 9.7%(前年度9.0%)</li> </ul> <p>&lt;春光園うえみず生活介護事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延利用者数 4,136人(前年度 3,917人)</li> <li>・平均利用者数 16.8人(前年度 16.0人)</li> <li>・稼働率 84.0%(前年度 80.0%)</li> </ul> <p>&lt;春光園けやき相談支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 115人(前年度 111人)</li> </ul> <p>&lt;春光園うえみず相談支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 29人(前年度 29人)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開所日数 けやき:243日 うえみず:246日</li> <li>・園外活動 ・自主製品生産 ・受注作業</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <p>(けやき)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防設備保守点検業務 ・空調設備保守点検業務 ・自動ドア保守点検業務</li> <li>・自動給水ポンプユニット保守点検業務 ・自家用電気工作物保安管理業務</li> <li>・汚水処理施設保守点検業務・害虫駆除防除業務・清掃等管理業務・機械警備業務</li> <li>・受水槽法定点検・塵芥収集運搬処理業務 ・公共建築設備等点検業務</li> <li>・廊下フローリング張替修繕・床置便器修繕・トイレ手すり交換修繕</li> <li>・浄化槽ブローア交換修繕・電話設備更改修繕・ボールタップ交換修繕</li> <li>・誘導灯信号装置更新修繕・排煙窓オペレーター修繕</li> </ul> <p>(うえみず)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械警備業務</li> <li>・清掃業務 ・植木剪定業務 ・空調設備保守点検業務</li> <li>・消防設備保守点検業務・エアコン修繕・空調室内機修繕</li> </ul>
<p>(6)収支状況</p>	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービス等事業収入 233,974千円 (前年度219,033千円)</li> <li>・指定管理料 181,186千円 (前年度174,032千円)</li> <li>・その他 14,503千円 (前年度 19,762千円)</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 285,539千円 (前年度280,521千円)</li> <li>・事務費 9,281千円 (前年度 8,164千円)</li> <li>・施設管理費 84,120千円 (前年度 75,000千円)</li> <li>・事業費 12,094千円 (前年度 12,214千円)</li> <li>・繰入金支出 33,565千円 (前年度 33,015千円)</li> <li>・その他 4,311千円 (前年度 3,383千円)</li> </ul>
<p>(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>ご利用者並びにご家族との個別面談時に「施設のたよりを毎月楽しみに読ませていただいている。画像も掲載され、様子がよく分かるが、多色であると更に見やすくなるのでは。」とご助言を頂戴いたしましたので、今年度から多色印刷に変更したところ、多くのご利用者並びにご家族から好評を得ることができた。</p>
<p>(8)その他</p>	

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
基本的なサービス提供を行うと共に利用者が主体となるような事業を実施します。	給食及び送迎サービスを滞りなく実施した。 外出活動や日中活動では、複数の企画を立案し、利用者が選択できるように設定し、意思や要望を確認してご参加いただいた。また、提供する給食の献立について、タブレット端末を用いて料理画像を活用し、利用者の希望が表出しやすいよう配慮した。
関係機関と連携 地域住民との交流を図り開かれた施設を目指します。	相談事業においては、月1回の見沼区支援課で行われる支援会議に参加し、近隣の事業所との情報交換を通じて地域の実情を共有することができた。 地域住民との交流機会として地区社協の協力のもと草刈りボランティアを募集し、グラウンド除草作業を実施して障害者施設の理解促進に努めた。
地域の子どもたちとのつながり	例年行っている植水保育園や佐知川放課後児童クラブを招待しての「ボランティアコンサート」や大宮西小学校のバザーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。 令和3年3月に、隣接する佐知川放課後児童クラブと、合同の防災訓練を感染防止対策を徹底したうえで実施した。

## 3. 評価

### (1) 指定管理者による評価

・春光園けやきにおいては、ご利用者の一人ひとりがその人らしい主体性を持った日常生活を送ることが出来るようご利用者の意思を大切に支援を実施した。日中活動や園外活動の内容に関してご自身で選択する機会を多く設けた。  
・言語理解が難しいご利用者の意思を確認する際には、絵カード、写真カードを利用し視覚的に理解し意思の表出が図れるよう配慮した。さらにタブレット端末の活用についての試みも行った。  
・春光園うえみずにおいては、土曜日開業を年4日から年6日に回数を増やし、利用者の余暇支援の充実及びご家族の休息支援のニーズに応える機会とした。  
・虐待防止を図るため、人権擁護に関する共通認識を職員間で備わるよう外部講師を招き施設内研修を実施した。  
・相談支援事業において、ご利用者への適切なサービス等利用計画書を作成するため、利用者が利用する福祉サービス事業所に定期的に訪問し利用の状況及び様子の確認を行った。  
・安心安全な事業所運営のため、今年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、手指消毒やポンプ式石鹸の設置、活動場所の消毒及び換気の徹底を行うとともに、ご家族向けに新型コロナウイルス感染症に関する国等からの情報提供や感染症が疑われる際の対処方法など通知文を作成、配布して周知した。ご利用者にとっては、来所時及び帰宅時2回の検温を行い体調の変化に注意した。  
また、密集、密閉、密接の回避に努め、食堂での食事の際には、斜めの位置に座るなど適切な距離が取れるよう配慮した。職員にとっては、マスクの常時着用、アクリル板の設置、日々健康管理に努めるよう周知徹底を図った。

### (2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局福祉部障害政策課)

#### 総合評価 (B) ※A~D

利用者サービス向上を目的とした虐待防止委員会、事故防止委員会、給食委員会、保健委員会等の委員会を適宜開催した。個別面談や利用者アンケートを実施し、利用者から聴取した意見等を検討・考察を行った。  
利用者家族との意思疎通や相互理解を図るため、連絡帳だけでなく、日常的に電話連絡を行った。  
言語理解が難しい利用者の意思決定の支援を図るため、日常活動や行事等で使用する写真カードや絵カードをより視覚を通して理解しやすくなるよう種類、大きさを工夫して使用し、支援を行った。  
事故防止、危険防止のため、作業室等の整理整頓を行い、棚やロッカーのレイアウトについて配慮した。  
施設の設備等各種点検を行い、不具合箇所等の修繕を実施し、施設の維持管理を行った。  
以上のこと等より総合評価をBとした。

### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。